

GLOBAL VOYAGE

[グローバル ヴォヤージュ]

PEACE BOAT

2020

Spring

美しい情熱の都市
ブラジル

リオデジヤネイロ



ビートルズ誕生の地

リバプール [イギリス]

第二特集

CONTENTS

特集

- 美しい自然 情熱のカーニバル
リオデジャネイロ P3

- 太陽降り注ぐ都市に
美しい景観が広がる P4

- 青い海に白い砂浜
ビーチを満喫 P6

- 圧倒的スケールで迫る
イグアスの滝 P7

- 熱狂的な歌と踊りの祭典
必見!リオのカーニバル P8

- 多彩な味覚にあふれる
美食大陸、南米 P10

- 参加者インタビュー P12

第二特集

- ビートルズ誕生の地
リバプール P14

- イギリスの湖水地方と
北ウェールズの自然美に癒される P16

- ピースボート災害支援センター P18

表紙の写真
コルコバードの丘にあるキリスト像からリオデジャネイロの街とグアナ巴拉湾を望む。



リオデジャネイロ

美しい自然 情熱のカーニバル

リオデジャネイロは、サンパウロに次ぐブラジル第二の都市。16世紀にこの地を訪れたポルトガル人が入江を大きな川と勘違いして「1月の川」という意味の名前が付けられた。そのグアナバラ港は世界三大美港の一つとなり、リオのカーニバルは世界三大カーニバルの一つに数えられる。また美しい海岸線、岩山の絶景などブラジル最大の観光都市は見どころが満載だ。

Rio de Janeiro city · Copacabana · Ipanema · Iguazu Falls · Carnival of Rio

太陽降り注ぐ都市に 美しい景観が広がる

ブラジルは南米大陸の半分の面積を占めるスケールの大きな国で、リオデジャネイロは1960年に首都がブラジリアに遷都されるまで、ブラジルの首都として栄えた。現在も中南米有数の貿易港、経済・文化の中心地だ。観光資源も多く、都市周辺の美しい文化的景観は「山と海との間のカリオカの景観群」として世界遺産に登録されている。

リオデジャネイロの観光スポットの一つ「コルコバードの丘」は標高710メートルもあるので、市内から登山列車で向かう。リオの象徴ともいえるのが丘の上に建つ「コルコバードのキリスト像」。1931年にブラジル独立100周年を記念して建てられた巨大な像は、両手を広げてリオの街を見守っている。高さ38メートルもあり、中には礼拝堂もある。またこの丘から街を見下ろすと、世界三大美港の「つグアナバラ湾や「ポン・ジ・アスーカル」の奇岩を望む絶景が広がっている。

ポン・ジ・アスーカルのロープウェイに乗って頂上を目指す。1本目のロープウェイを降りたところが「ウルカの丘」で、カフェで休憩することもできる。円錐状の岩の頂上は海拔396メートルで、ここからの眺めもまた素晴らしい。

このばかりリオの中心地のセントロ地区には歴史的な情緒ある街並が続く。カリオカ広場近くに堂々と建つ2万人を収容する大聖堂「カテドラル・メトロポリターナ」をはじめ、35万冊の古書を揃える「王立ポルトガル図書館」、ブラジルの巨匠によるユニークな設計で目を引く「ニテロイ現代美術館」など見どころも多い。南米らしいカラフルな色づかいの大アート「セラロン階段」や街なかの壁画も目を楽しませてくれる。



1:チリ人の芸術家ホルヘ・セラロンがブラジル人に捧げて作った階段、エスカダリア・セラロン。
2:天井までステンドグラスが施されたカテドラル・メトロポリターナ。
3:200年以上の歴史があり南米最大級の規模を誇るリオデジャネイロ国立図書館。
4:セントロの広場にある水道橋。
5:街にはカラフルな壁画があちこちで見られる。



4
5



Pão de Açúcar
グアナバラ湾の入口に隆起したポン・ジ・アスーカルへロープウェイで向かう。



Rio de Janeiro Shopping



6:南米に生息するオオハシの置物。
7:露店マーケットで売られているビーズアクセサリー。
8:南米らしいカラフルな色づかいのカゴ。
9:フレッシュジュースも飲めるフルーツ店。

新世界七不思議にも選ばれているコルコバードのキリスト像。数多くの石鹼石で造られている。



Iguazu Falls

北米のナイアガラの滝、アフリカの
ビクトリアの滝とともに、世界三大
瀑布に数えられる「イグアスの滝」。
三国にまたがるイグアス国立公園
内にあり、「一生に一度は見てみたい」
南米屈指の人気を誇る観光スポット
だ。三大瀑布のなかでもスケール
の大きさは桁違いで、大小275も
の滝が4キロにわたって連なっている。
毎秒6万5千トンもの水が轟

音とともに最大落差80メートルの
滝壺に飲み込まれていく様子は、い
つまでも見ていられるほど圧巻のス
ケールで迫ってくる。また公園内は
アーチ型の自然の宝庫で、貴重な動
植物を見る 것도できるし、滝の周
りはトレッキングコースになつてお
り、ブラジルサイドはアップダウンも
少ないため、散策気分で楽しめる。
展望台も点在するので、ベストポジ
ションから記念撮影を楽しもう。



圧倒的スケールで迫る イグアスの滝

先住民の言葉で「大いなる水」という意味の「イグアス」。東京都とほぼ同じくらいの広大な面積をもつイグアス国立公園の主役として、世界中から観光客が訪れている。世界三大瀑布のなかで最もダイナミックな滝の迫力を前に、見る者は圧倒され、自然の偉大さに感動しながら、畏怖の念に打たれるだろう。

Beach Side

青い海に白い砂浜 ビーチを満喫

生粋のリオっ子から国内外の観光客まで、大勢の人で賑わっているのが、リオの代名詞ともいわれるビーチ。のんびり日光浴をする人、ビーチバレーやビーチサッカーで盛り上がる人たち。またショッピングを楽しむこともでき、美しいサンセットも必見だ。



1:イパネマビーチに建ち並ぶ売店は代名詞の一つ。2:ユニークなスタイルの売り子。3:夕日鑑賞もリオの名物。4:地元住民の愛犬がビーチを散歩。



Ipanema Beach

ビーチファッショントリニティの中心地であるイパネマビーチ。



Copacabana Beach

「海の皇后」というニックネームを
もつ、コパカバーナビーチ。波模
様の石畳は70年代に完成した。

熱狂的な歌と踊りの祭典 必見！リオのカーニバル

世界三大祭りの一つである「リオのカーニバル」は、地上最大のショーといわれるほどの華やかさで知られ、毎年復活祭の40日前まで、5日間にわたって熱狂的な歌と踊りが繰り広げられる。期間中はメインのコンテストが開催されるサンボドロモスタジアムのほか、街中で大小のパレードやストリートバンドが登場し、街全体がカーニバル一色になる。

カーニバルには「謝肉祭」の意味があり、元々はキリスト教の宗教行事の一つだ。なかでもキリストの復活を祝う復活祭（イースター）はいちだんと重要な行事になる。復活祭前の40日間が禁欲生活となるため、その前約5日間をカーニバルとして食べて飲んで踊り、楽しく過ごしたことが由来となっている。

リオのカーニバルは、ブラジル独自のサンバとともに規模を発展させてきた。ブラジル東北部のアフロブラジル音楽がリオで広まって、小さなグループが生まれ、組織化され、1932年に初めてのコンクールが行われたという。現在のパレードによるコンテストが行われるようになったのは1950年代だ。



カーニバル期間中は、100万人以上の人々が観覧や参加のために街を訪れる。大小のパレードやバンドをいたるところで目にすることができる。メインパレードが行われるのはサンボドロモスタジアムで、ブラジルナンバーワンの称号を目指し、国内屈指のサンバチームが競う。

最初の2日間はアクセルグループが登場し、次の2日間でスペシャルグループが会場を沸かせ、そして最終2日間で上位入賞6チームによるチャンピオンパレードが行われる。全長約700メートルの会場を65分以上80分以内でパフォーマンスを披露するのだが、その内容はあらかじめ決められたテーマをもとにサンバ・オペラを作り、演出家の元で磨きをかけ、山車を制作し、噴水や花火などの仕掛けも考えられたものになる。各チームのメンバーは2000人から4000人規模にもなり、とにかくダイナミックの一言だ。

優勝賞金も莫大でラスベガスのホテルでのショーが行えるなどビジネスチャンスも生まれるため、コンテストは真剣勝負。歌と踊りはもちろん、打楽器の演奏、衣裳、山車と装飾、パレード全体の調和などが細かく審査される。スタジアムでは船旅の仲間とともに、マラカスなどを手に入れたチークへ声援を送るといつそう楽しめるだろう。





[セビーチェ]

ペルー・ヤ・メキシコなどでよく食べられる、魚介類のマリネ。白身魚にエビやタコ、イカなどに新鮮な野菜を加え柑橘系の果汁を搾ったもの。

Ceviche



[アロス・コン・ポジョ]

コリアンダーのソースとビールで炊き込まれたライス。ペルー風チキンライスとも呼ばれ、チャーハンのような味で、パクチー好きの方にお勧め。

Arroz con pollo



[ロモ・サルタード]

ペルーの伝統料理で、ペルーに移民してきた中国人の影響を受けていいる。牛肉と各種野菜を炒めるが、醤油が使われる所以馴染みやすい味だ。

Lomo Saltado



[メリルーザ]

南米の一般的な白身魚。淡白でケセがなく揚げても煮ても、ソテーしてもどんな調理法にも合い、価格も庶民的なので日常的に親しまれている。

Merluza



South American Foods

多彩な味覚にあふれる 美食大陸、南米

南米大陸は日本の裏側に位置しており、普段はあまり馴染みのない国が多いが、実は美食の宝庫として知られている。海岸が多いためシーフード料理はもちろん、メインとしての肉料理のバリエーションも豊富。また各国で育まれてきた郷土料理、伝統料理など多彩な味覚にあふれている。



[アロス・コン・レチエ]

中南米の各国でよく食べられている、米と牛乳で作ったデザート。甘いお粥のような味わいで、シナモンやレモンの皮などが香り付けに使われている。

Arroz con leche



[セントージャ]

チリやアルゼンチンで良く食べられるセントージャは、南極ガニと呼ばれるタラバガニに似ている。甘みのある身はお替わりしたくなるほど美味だ。

Centolla Tia



[エンパナーダ]

餃子のような見た目の中南米では一般的な家庭料理。スパイシーな具材を薄いパン生地で包んだお惣菜だ。具材は各国によってさまざま。

Empanada



[シェラスコ]

日本でも馴染みの、鉄串に牛肉や豚肉、鶏肉を通し岩塙をふり炭火で焼き上げ、切り分けて食べるグリル料理。ビールとの相性も抜群だ。

Churrasco



【モースイ・ジ・マラクヤ】
ブラジルのカフェやレストランの定番メニュー。ゼラチンを用いたさっぱりとした味わいのムース。コンデンスマルクがミックスされていることが多い。

Mousse de Maracuja



[アサード]

アルゼンチンで絶大な人気の牛肉のBBQ料理。塩で味付けした牛肉の塊を炭火でじっくり焼く、パーティーには欠かせないメニュー。赤ワインが合う。

Asado



[フェイジョアーダ]

黒豆と肉を煮込んだブラジルを代表する料理の一つ。牛肉のほか豚肉のさまざまな部位が用いられる。ほとんどのレストランにある定番メニュー。

Feijoada



[カウサ]

ペルー風のポテトサラダ。マッシュポテトにツナ、アボカド、チキンなど好みの具材を押し寿司のように挟んだ、見た目も美しい家庭料理だ。

Causa



[チュペ・デ・カマロネス]

川エビをトマトクリームでじっくり煮込んだスープ。ペルーのアレキパという山岳地帯の名物料理でエビの出汁が効いた濃厚な味わいがクセになる。

Chupe de Camarones



[ムケッカ]

ブラジル北部の名物料理で魚介類をココナッツミルクで煮込んだもの。魚貝スープとしても楽しめるしご飯やパケット、パスタにも合う。

Moqueca



ピースボート クルーズ体験

アンバサダーが語る



ピースボートクルーズアンバサダー
中山広子さん (佐賀県在住)

ピースボートクルーズは第98回世界一周と第103回オセアニア一周に乗船。現在ピースガイドとして活動しているほかピースボートセンターふくおかで週末を中心に運営ボランティアに参加している。「若い人たちと一緒にさまざまなことに取り組んで刺激を受けています。私にとっての生きがいですね」。



ピースボートクルーズをきっかけにピースガイドをはじめとする観光地巡りや海外支援の大切さなどを考え、取り組むようになった中山広子さん。「旅を楽しみながら世界を知り、平和のメッセージであります。私はいつも人生が大きく変わる、そんな出会いと体験が皆さんを待っていますので!」

ピースボートクルーズ乗船のきっかけを教えてください

私は小学校の教諭を長く務めていましたが、退職したら船で世界一周することが長年の夢でした。クルーズの内容を知るために、在職中に説明会に参加したところ、ピースボートではボランティア割引があるということことで、約1年半、ピースボートセンターふくおかの運営をお手伝いして、第98回クルーズに夫婦で初乗船しました。

初めての世界一周で印象に残った場所はどこですか

訪れた場所では、まずペルーのマチュピチュ遺跡ですね。「教科書に載つていて、おかの運営をお手伝いして、第98回クルーズに夫婦で初乗船しました。

ピースガイドとしてどんな活動をしていますか

そうですね、一緒に船内でピースガイドの資格を取った若者二人が長崎を訪ねてきた時に、被爆地や街を案内したり、自分の子どもや孫が帰省したときにも戦争のこと、核のこと伝えねばと思い案内しました。また長崎では被爆者の方々を中心、毎月9日の慰霊の日にあわせて核兵器廃絶の署名の呼びかけや座り込み集会が行われているとということを知り、姉と一緒に参加しました。地道ながら今でもピースガイドとしての活動を続けています。

ピースボートクルーズの魅力はどのような点ですか

オーストラリアでは特にエアーズロック(ウルル)の巨大さ、絶景に感動した

オセアニアクルーズは行ったことのない寄港地が多く、ぜひ観光地を回つてみたかったという理由もありますが、ガダルカナル島やラバウルに寄港し、戦争の跡を見学し慰霊に参加できることも大きかったです。ニューカレドニアでは、戦前にツケル鉱山の発掘のため多くの日本人の方が移民として移り住んだことを初めて知つて行つてみたいと思いました。移民団の苦労や敗戦後の辛くて大変な歴史を知ることができ、亡くなつた方の日でした。またラバウルでは子どもたちとの交流もあり、文房具や洋服を届けたり、一緒に遊んだり踊ったりして楽しく過ごしました。生活面では貧しいけれど瞳をキラキラと輝かせている子どもたちを見て、幸せとは何かを測る尺度について考えさせられました。

ると同じ景色!」と感激しました。またノルウェーでは作曲家グリーグの生まれた土地を訪ねました。夫と友人と3人で電車に乗つて行ったのですが、現地ではグリーグの楽曲を演奏するコンサートを聴くことができました。そのホールの前面がガラス張りで、目の前にフィヨルドが広がっていると、とても美しく贅沢な時間でした。

あとサントリニ島も素晴らしかったし、選びだすとキリがありません。

船内での生活でも貴重な体験をされたと聞いています

ピースボートは船内のプログラム、イベントなどがとても充実しています。私は、水先案内人(ゲストスピーカー)として乗船していたアーメーション監督のパートナーとして活動しました。アフレコシヨーを行って実際に使用する映像に、セリフ、音響、装飾といった各グループに分かれて作品を完成させていきました。船内で発表した充実感もさることな

がら、皆さんと協力して作り上げた一体感が忘れられません。

このクルーズに広島・長崎の被爆者が乗船されていたことがきっかけで、ピースボートが取り組む核廃絶のプロジェクトにも興味をもちました。私も長崎出身で父が被爆してしまった。ですが、この乗船で自分が被爆2世であることを改めて実感したのです。私自身は健康ですが親戚に甲状腺の病気をもつ人がいたりして、核廃絶に向けて自分ができることをしようと思つたきっかけになりました。そして船内で10回にわたる講座を受けて、ピースガイドの資格を取つたのです。

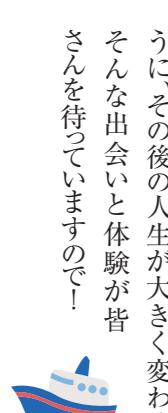
ピースガイドの資格を取得したのもこのクルーズだったそうですね

ように、クルーズで世界各地の世界遺産をはじめとする観光地巡りももちろん楽しみです。と同時に、ピースボートの場合、核廃絶や海外支援、平和について考え、取り組むことができ、その目で確かめることの大切さ」という精神に大いに共感します。また今回のクルーズではジャーナリストの中原歩さんが語られた「ピースボートがピースボートである証は、平和活動に取り組むこと。ピースボートからピースをとつたらたんなる船になつてしまふ」というメッセージも大いに頷けるものでした。私にとってのクルーズはピースボート以外に考えられません。

出発前に病気などに対する不安はありませんでしたか

初めてのときは、万二旅先で病気になつたらという心配もありましたので、事前の病院受診、相談はもちろん、もしもに備え海外旅行保険はしっかりしたものに加入していました。ただ、船には日本人医師も同行していると聞いていたので安心はできました。また、クルーズは申し込みから出発までの期間が長いので、今回のコロナウイルスのような不安要素が発生する場合もあるかもしれません。そのような場合は、キャンセルチャージがかかる場合もあるかもしれません。そのため、船には日本人医師も同行していました。また、クルーズは申し込みから出発までの期間が長いので、今回のコロナウイルスのような不安要素が発生する場合もあるかもしれません。そのような場合は、キャンセルチャージがかかる場合もあるかもしれません。そのため、船には日本人医師も同行していました。

かからない3ヵ月前まで状況を静観しつつ判断されるのがよいと思います。何よりせつかく得た割引や特典などがすべて無くなってしまうのはもつたないですからね(笑)出発を迎える日までには、世界の情勢から家族の反対までさまざまなものもあれば、誰もがぜひとも夢を実現させてもらいたいです。私自身がそうだったように、その後の人生が大きく変わる、そんな出会いと体験が皆さんを待っていますので!



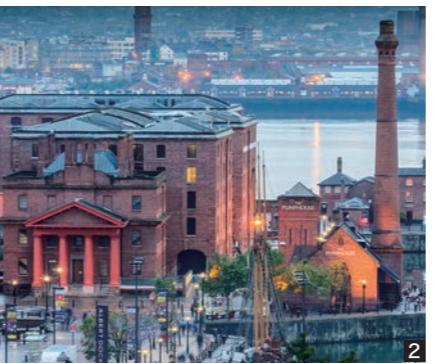
ビートルズ誕生の地

リバプール

イギリス北部に位置するリバプール。かつては海運業で栄え、現在は重厚感のある多くの歴史的建造物が残され、芸術文化、スポーツの中心地として知られている。世界遺産の「ピアヘッド」をはじめ港湾エリアには見どころが多く、街中にも「リバプール大聖堂」や「リバプール市庁舎」などの観光スポットに事欠かない。また世界中に、世代を超えてファンが街を訪れている。



Liverpool



1:ピアヘッドに建立されているビートルズのブロンズ像。2:世界遺産「海商都市リバプール」を構成する一つアルバート・ドック。

かつての海商都市の遺産が観光スポットに

リバプールは港から街の中心地まで徒歩で約15分の港湾都市である。埠頭の一角にある「ピアヘッド」は、産業革命以後の反映を物語る3つの建物「ロイヤルリバービルディング」「リバプール港ビルディング」「キュナードビルディング」からなる世界遺産。「アルバート・ドック」は華やかな海洋交易拠点の歴史を伝えてくれる。また「マージー・サイド海洋博物館」や「リバプール博物館」もこのエリアにある。

街のアイコンともいえるのが「リバプール大聖堂」で、英國国教会で最大規模を誇り、100メートルもの塔がそびえ立っている。天井が

高くステンドグラスを通して注がれる光の中に立つと、荘厳な雰囲気に包まれる。9700本以上のパイプで音を奏でるパイプオルガンやイギリスで最も大きいといわれるベルも必見だ。また塔の頂上からは街を望める。

リバプール大聖堂と比較されるのが「メトロポリタン大聖堂」でも、現代的なデザインとともにこちらもステンドグラスの美しさで知られている。このほか自由行動では、人気、実力とも世界屈指のクラブ「リバプールFC」の本拠地「アンフィールドスタジアム」の見学ツアーもお勧めだ。

そしてもちろん、ビートルズの足跡もたどりたい。ビートルズの生い立ちをパネル、写真で紹介し、貴重なグッズも揃えた「ビートルズストア」をはじめ、発祥の地として有名な「マーシュ・ストリート」として有名な「マーシュ・ストリート」には像やレコードが飾られている。また名曲のモチーフになつた「ストロベリー・菲尔ド」、リバプールサウンドの中心であり、かつて若かりしビートルズも演奏した「キャヴァーン・クラブ」もファンにとってはたまらないスポットだ。



3:ヨーロッパ最大の規模といわれるチャイナタウン。4:リバプールをホームタウンとする2つの有名フットボールクラブ。5:ファーストフードが食べられるリバプールの名物イエローバス。

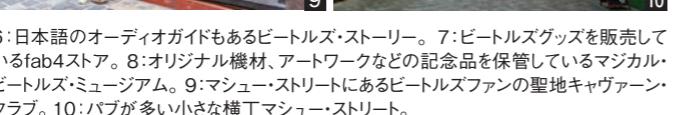
リバプールのショッピングストリート。



カトリックの宗教施設メトロポリタン大聖堂。



ゴシック様式が採用されたアーチが印象的なリバプール大聖堂。



6:日本語のオーディオガイドもあるビートルズ・ストリー。7:ビートルズグッズを販売しているfab4ストア。8:オリジナル機材、アートワークなどの記念品を保管しているマジカル・ビートルズ・ミュージアム。9:マーシー・ストリートにあるビートルズファンの聖地キャヴァーン・クラブ。10:バブが多い小さな横丁マーシー・ストリート。

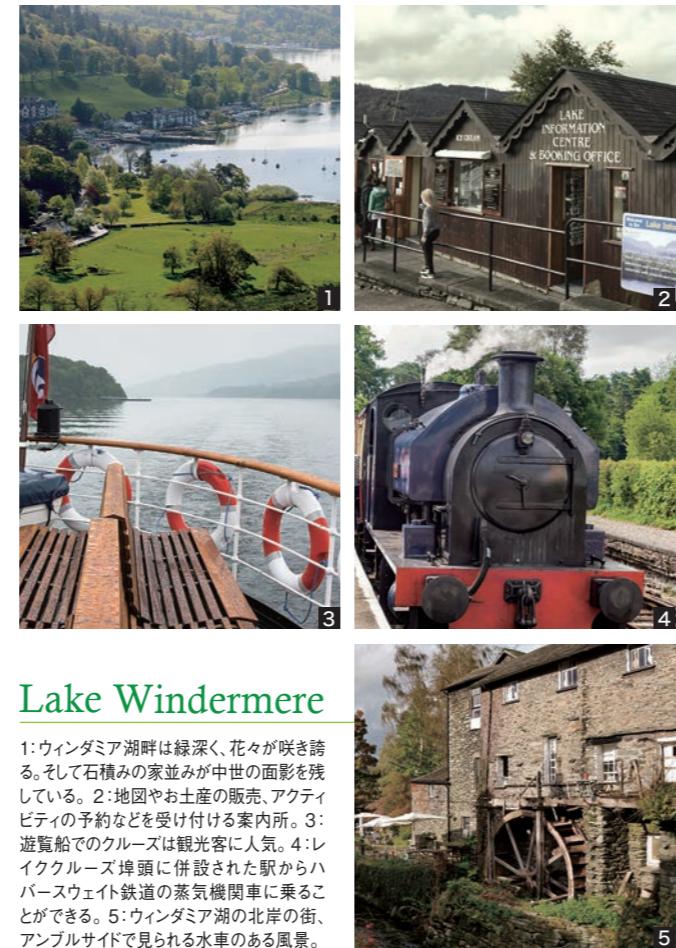
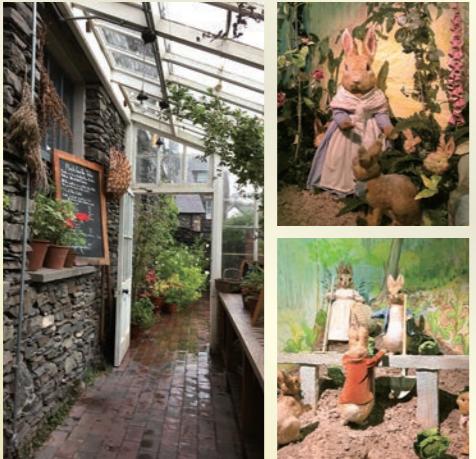


「三女神」と称される3つの建物を中心とした世界遺産ピアヘッド。

Peter Rabbit

ビアトリクス・ポター世界館

ウインダミア湖に面したボウネス地区にあるピーターラビットシリーズの作者、ビアトリクス・ポターの作品を再現した施設。絵本の中に入っている展示で、日本語による音声、映像も楽しめる。ティールームやギフトショップも人気だ。



Lake Windermere

1:ウインダミア湖畔は緑深く、花々が咲き誇る。そして石積みの家並みが中世の面影を残している。2:地図やお土産の販売、アクティビティの予約などを受け付ける案内所。3:遊覧船でのクルーズは観光客に人気。4:レイククルーズ埠頭に併設された駅からハバースウェイト鉄道の蒸気機関車に乗ることができる。5:ウインダミア湖の北岸の街、アンブルサイドで見られる水車のある風景。



湖水地方の入口で、心をなごませる手つかずの風景が広がるウインダミア湖。

大自然のなかで緩やかに時が流れる

イギリス北西部の湖水地方は、16の湖と500以上の池がある有数のリゾート地だ。およそ2300キロ平方メートルがナショナルパークに指定され、世界遺産にも登録されている。雨が多いことでも有名な地域だが、英國随一の自然美とよばれる風景がそこにある。ウインダミア湖は湖水地方の観光の中心であり、長さが18キロ、

深さは61メートルもあるこの地方で最大の湖。氷河時代に氷河の侵食によって水が谷に流れ込んだことで形成され、湖の周りを緑の山々が連なっている。ロマン派詩人のワーズワースが愛した風景が今も変わらず広がっている。花々を眺めながらの湖畔散策で癒され、中世の面影が残る街を巡るのも楽しい。また遊覧船でのクルーズ

で、城壁の街コニウェイでは世界遺産のコニウェイ城、中世の城下町を散策するのも興味深い。ウェールズ最高峰のスノードン山の裾野に広がるスノードニア国立公園は優美な湖や川を眺めながらミニハイキングも楽しめる。世界遺産に登録されているポンテカサス水路橋は地上38メートルの水路橋で、ここを徒歩で渡ることができる。史跡と大自然が融合した北ウェールズの魅力を存分に味わいたい。

Northern Wales



6:世界遺産に登録されているコンウェイ城。
7:ベトゥス・イ・コエドでは美しい自然のなか、散策を楽しめる。



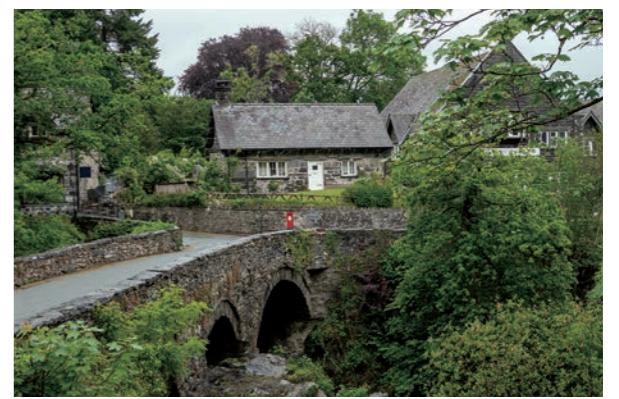
やノスタルジックな蒸気機関車の乗車体験もできる。

湖水地方は「ピーターラビット」の原作者ビアトリクス・ポターゆかりの土地であり、物語に描かれた舞台が数多くある。ポターが晩年を過ごした「ヒルトップ・ハウス」が今も残り、家具やイラストブックなどが展示されている。「ビアトリクス・ポター世界館」ではピーターラビットの世界がそのまま再現され物語の登場人物たちにも出会うことができる。

北ウェールズに足を伸ばす旅もお勧めだ。城壁の街コニウェイでは世界遺産のコニウェイ城、中世の城下町を散策するのも興味深い。ウェールズ最高峰のスノードン山の裾野に広がるスノードニア国立公園は優美な湖や川を眺めながらミニハイキングも楽しめる。世界遺産に登録されているポンテカサス水路橋は地上38メートルの水路橋で、ここを徒歩で渡ることができる。史跡と大自然が融合した北ウェールズの魅力を存分に味わいたい。

イギリスの湖水地方と北ウェールズの自然美に癒される

首都ロンドンから約400キロ離れたイギリスの湖水地方には、絵画のような美しい田園風景が広がっている。大きな湖と小さな川が豊かな緑とともにハーモニーを奏でている。極上の自然に包まれようと、世界中から訪れる人が絶えない。



スノードニア国立公園内にあるリゾート村ベトゥス・イ・コエドの風景。

いわき市支援 前へ進むために 力を合わせること



台風19号の被害にともなう PBVの活動報告

昨年10月、台風15号に続き上陸した台風19号は各地で河川の氾濫、土砂災害を発生させ甚大な被害をもたらした。ピースボート災害支援センター(PBV)では、最も多くの浸水被害が発生した福島県いわき市へ支援活動に入り、多方面から活動を展開。現在もなお支援を継続している。



PBVは災害発生後に、被害状況の把握と関係機関との支援調整を行い、福島県いわき市に支援活動に入るため全国的に広くボランティアを募集した。「台風19号による被害は福島が最も大きかったのですが、支援は最も少なかった。そこをPBVとして支援していくたいと思いました」とスタッフは語る。

まず行つたのが、いわき市内郷コミュニティセンターに開設された避難所の運営サポート。少しでも住民の皆さんがあ

安心して健康的に生活できるよう大掃除から始まりダンボールベッド、パーテー

ション、共有スペースなどを次々と設置

していく。ときにはクリスマス会などの

イベントを実施し一緒に楽しんだり、

笑顔になつてもらうひとときもつくった。

いわき市社会福祉協議会が運営し

ている災害ボランティアセンターに対す

るサポートとしては、ニーズマッチング

や現地確認などを実施。対応が難しい

壁・床はがし、床下に潜つての土砂出し

などの家屋清掃を約190件行ったほ

か、田畠、公民館、集会所も清掃した。

「特に水害にあつた場合、春以降の力

ビ発生を防ぐため清掃が不可欠なの

で、その点を理解してもらえるよう家

屋保全講習会を何度も開催しました」

期間中の炊き出しの提供食総数は

約5780食にのぼり、自宅キッチンの

修繕などが遅れたり、避難所で栄養管

理に困っている方々に大変感謝された。



での期間で、延べ活動人数は2500人を超える。

なおボランティア募集は終了しているが、PBVとしての支援活動は現在も継続しており、公民館への備品提供、情報共有会議のサポートを行つてゐる。「ボランティアに関心を持つてもらい、現地に赴くことで他人事ではなく自分事としてとらえ、「助け合いの文化」を育んでいきたい」というPBVの活動、取り組みはこれからも続く。



10月24日から2020年2月28日ま

「また毎日片付けに追われ、先の見えない状況に置かれている皆さんのが気軽に立ち寄れるサロンをつくり、お茶を飲みながらと一息つき、困りごとや悩みを話せる場所もつくりました。積極的に接することで『助けてくれる人がいるのは嬉しかった』と言つていただけたことも多くありました」

このほか、被災した際に汚れてしまつた大切な写真を洗浄するための講習会は好評で、自力で洗浄がむずかしい世帯はPBVで預かり洗浄した。現地ではさまざまな場所で皆さんから「ありがとうございます、PBVの活動を通して、人に寄り添うという意味を改めて知つた」「PBVがいてくれて良かった」と言つてもらえることが多く、避難所支援で関わったスタッフは退所後に自宅へ招かれたケースもあった。今回、2019年10月24日から2020年2月28日ま

た大切な写真を洗浄するための講習会は好評で、自力で洗浄がむずかしい世帯はPBVで預かり洗浄した。現地ではさまざまな場所で皆さんから「ありがとうございます、PBVの活動を通して、人に寄り添うという意味を改めて知つた」「PBVがいてくれて良かった」と言つてもらえることが多く、避難所支援で関わったスタッフは退所後に自宅へ招かれたケースもあった。今回、2019年

10月24日から2020年2月28日ま

た大切な写真を洗浄するための講習会は好評で、自力で洗浄がむずかしい世帯はPBVで預かり洗浄した。現地ではさまざまな場所で皆さんから「あ

りがとう、PBVの活動を通して、人に寄り添うという意味を改めて知つた

」「PBVがいてくれて良かった」と言つてもらえることが多く、避難所支援で関わったスタッフは退所後に自宅へ招かれたケースもあった。今回、2019年

10月24日から2020年2月28日ま

た大切な写真を洗浄するための講習会は好評で、自力で洗浄がむずかしい世帯はPBVで預かり洗浄した。現地ではさまざまな場所で皆さんから「あ

りがとう、PBVの活動を通して、人に寄り添うという意味を改めて知つた

」「PBVがいてくれて良かった」と言つてもらえることが多く、避難所支援で関わったスタッフは退所後に自宅へ招

かれたケースもあった。今回、2019年

10月24日から2020年2月28日ま

た大切な写真を洗浄するための講習会は好評で、自力で洗浄がむずかしい世帯はPBVで預かり洗浄した。現地ではさまざまな場所で皆さんから「あ

りがとう、PBVの活動を通して、人に寄り添うという意味を改めて知つた

」「PBVがいてくれて良かった」と言つてもらえることが多く、避難所支援で関わったスタッフは退所後に自宅へ招

かれたケースもあった。今回、2019年

10月24日から2020年2月28日ま

た大切な写真を洗浄するための講習会は好評で、自力で洗浄がむずかしい世帯はPBVで預かり洗浄した。現地ではさまざまな場所で皆さんから「あ

りがとう、PBVの活動を通して、人に寄り添うという意味を改めて知つた

」「PBVがいてくれて良かった」と言つてもらえることが多く、避難所支援で関わったスタッフは退所後に自宅へ招

かれたケースもあった。今回、2019年

10月24日から2020年2月28日ま

た大切な写真を洗浄するための講習会は好評で、自力で洗浄がむずかしい世带はPBVで預かり洗浄した。現地ではさまざまな場所で皆さんから「あ

りがとう、PBVの活動を通して、人に寄り添うという意味を改めて知つた</p

船上百景

[フルーツパーティー]



どれを選ぶか迷ってしまう! 南国的新鮮なフルーツたち。初めて食べるフルーツのお味はいかが。



希望のフルーツをスタッフが取り分けてくれる。



美味しいフルーツを食べながら会話を弾む。

フルーツでおなかいっぱい! 初めて体験する味に感動

シンガポール寄港後のお楽しみは、恒例となつてゐる「フルーツパーティー」。会場のレストランにて、カラフルなフルーツが並びとても良い香りが広がつている。バナナやメロン、パイナップルといった日本でもお馴染みのフルーツをはじめ、ランチータンやマンゴスチン、サラッカにロンガンといった初めて目にする珍しいものも並ぶ。毎回20種類以上のフルーツが用意される、船内でも人気の企画だ。

参加者はビュッフェスタイルで、好きなフルーツを好きなだけ楽しめ、バンド演奏が南国気分を盛り上げる。「初めてドリアンを食べました!」臭いが強烈でしたが意外に美味しく食べられました(笑)」「珍しいフルーツがいっぱい! マンゴスチンはとにかく甘かった!」参加者たちは思い思いのフルーツを皿にとり、初体験の味に驚いたり、「フレッシュ!」に感動したり、存分に満喫。笑顔あふれるひと時になつた。

「1973年当時のトイレットペーパーが実家にまだあった」という話が話題になっています。オイルショック時に買いだめしたものが今もまだ残つていると――まさに、当時の買い占めバニラクの滑稽さを示す笑い話ですが、またまたトイレットペーパーが品薄となつた昨今、笑うに笑えない話でもあります。やはり、周りの人々が浮き足立つている時ほど、落ち着いて行動することが大事なのだとつくづく思います。

世界周を楽しみにされていた方々のなかにも、新型コロナウイルスによるパニックで参加を断念される方もおられます。とても残念ですが致し方ありません。一方、今季季刊誌を手に持つて夏以降のいずれかのクルーズに参加を予定されている皆さまです。何千人という方が、いずれ収束するこの状況を冷静に見守りつつ、世界一周への準備を進めておられます。

人類はこれまでにも多くの感染症と戦い、そして克服してきました。21世紀に入つても鳥インフルエンザやSARSの流行がありましたが、それもすでに脅威ではありません。新型コロナウイルスの流行も遅かれ早かれ必ず終わる日が来ます。その時こそ、この荒波を乗り越えられた皆さんと共に、世界一周の大海上へと漕ぎ出すべく、スタッフ一同、皆さまに心から喜んでいただけるクルーズの実現を目指してがんばってまいります。(N.I.)

編後
集記